



特集

平成27年度所信と主要施策

発展を祈念し「よいしょ！」

4月にオープンを予定している大江山里交流館「やまさあべ」で、施設や運営内容を紹介するお披露目会が開催されました。会の最後には、地元七軒地区の皆さんが「よいしょ！」の元気の掛け声で餅つきをおこない「やまさあべ」の限りない発展を祈念しました。(12ページに関連記事)

平成27年

4

No.650

政 施 方 針

ここに暮らす喜びを みんなが実感できる

まちづくりの骨子

Town Planning 2015

平成27年度の予算などを審議する第1回大江町議会定例会が3月4日から13日までの会期で開かれました。冒頭で渡邊町長が町政運営に関する所信を述べるとともに、今年度の主要施策について説明をおこないましたのでお伝えします。

― 所 信 ―

昭和34年の誕生から数え、大江町は56年目の新しい年度を迎えます。歴史に残る2年前の豪雨災害の復旧も着実に進んでおり、関係各位に心から御礼を申し上げます。

①大江西川線の早期完成

主要地方道大江西川線の貫見から沢口間の工事が着工され、月布川に

架けられる2つの橋の橋脚が見えはじめました。全線開通には更に4つの橋が必要ですが、可能な限りの短い時間で工事が完了されるものと期待しています。ご協力いただいた町民並びに関係者の方々に心より感謝申し上げます。

②明るく健やかな子育て・教育の充実

大江町に移住し、新しい生活に踏み切った多くの方には、その決断に思いを寄せ、新しい隣人として県内唯一の重要な文化的景観の地に住む誇りを共有しながら、末長い付き合いができるよう努めていきます。保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校：明るく健やかな生活が送れるよう環境整備を進め、ハードとソフト

の両面から「子育て・教育立町」を宣言できる町を目指します。

③新中央公民館建築と運営

中央公民館の建築に向けた事業も滞りなく進行しています。新中央公民館に「新しい魂」をどう吹き込むのか、建築と同時に「町民の、町民による、町民のための」運営システム構築のため、町民の皆さんから積極的なご教示をいただきますようお願い申し上げます。

④地方創生の計画立案

国では「アベノミクス」による所得向上策や「地方創生」が提示され、山形県では林業振興策として「森ノミクス」が計画されています。町としては、その場限りではない、時代

「地方創生」を柱に きめ細やかで あたたかい町へ



大江町長 渡邊兵吾

を貫く真の「地方創生政策」とする
認識を共有したいものです。

未来を読み、可能・不可能を吟
味・精査し、理想的な優先順位を盛
り込んだ「地方創生」の計画立案が
求められています。確実な予算の執
行や地域の社会資産と資源の有効活

用、世代間の相互教育…。何事にも
額に汗をかき、懸命に真実をつかむ
「流汗悟道」の新たな町づくり、地
方創生が求められています。

大江町の広大な森の存在は、多様
な生物が「棲む」ことを可能にして
います。「棲む」と「住む」を同義
と捉えれば、朝日連峰の山々を背負
う大江町の「水と森」は、社会資産
そのものです。「棲める場所」に「住
んでいる」幸せの実現は、ダイヤモ
ンドの価値を越えていると発信した
いものです。

⑤ 町政運営

平成27年度の町政運営については、
第9次大江町総合計画に基づく短期
行動計画（平成26～29年度）に沿っ
て、「ここに暮らす喜びをみんなが
実感できる町」の実現に向け事業の
推進を図っていきます。

特に、国が進める「まち・ひと・
しごと創生総合戦略」と連携し、今
大江町が抱えている人口減少対策や
産業の活性化対策として、平成31年
度を目標とする「大江町版総合戦略」
の策定を進めながら、同時に平成27
年度は地方創生を推進するための地
域活性化・地域住民生活等緊急支援
交付金を活用した事業を具体的に進

め、諸課題の解決に向け取り組んで
いきます。

⑥ 財政状況

一般会計の地方債残高は、平成14
年度末には85億円まで達しておりま
したが、平成26年度末には46億円程
度まで縮小する見込みです。これも
町民皆様のご理解とご協力があつ
たからこそであり、改めて感謝申し
上げます。

平成25年度決算では、各種財政指
標で比較した場合、本町の財政状況
は県内35市町村の中で「概ね中上
位」に位置するまでに改善しました
が、依然として厳しい水準にありま
す。国の経済対策により景気は回復
基調とされていますが、本町のよう
な地方においては未だ実感を伴わず、
今後の地方交付税の動向を考慮した
場合、先行きの不透明感がぬぐいき
れないことも事実です。

こうした認識の下、平成27年度の
町政運営にあたっては、計画的かつ
効率的な行財政運営を基本としなが
らも、町の活性化という観点から全
体的なバランスを重視し、元気ある
地域づくりに向けて優先度と集中度
を見極め、きめ細かであったかい町
づくりを推進していきます。

1 まちづくり

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定／藤田住宅団地の造成／
空き家等対策計画の策定／ふるさと納税制度の充実／
遊休施設の活用、大江町山里交流館運営開始／駅前公有地の活用

まちづくりの基本は、そこに住む町民一人ひとりが「主役」となり、まちづくりに関わることで町の状況を見ると、主役となる町民の人口が、少子高齢化の中で2040年には約5,800人まで減少するという予測もあります。人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力あるまちづくりを進めるためには全町民の力を結集し施策を展開していく必要があります。町では、重要課題である少子高齢化や人口減少社会に対応していくため、平成27年度中に「大江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する予定です。

この戦略に基づき、雇用の創出や若い世代の結婚や出産、子育ての希望をかなえ、地域の活性化や安全安心なまちづくりに努めていきます。

り坪単価で5万円台とし、面積は平均80坪程度の小規模とすることで、若い世代でも買い求めやすい団地にしていきたいです。

を検討してきました。その結果、子育て世代や高齢者などさまざまな世代が共生できる居住スペースをメインとし、交通弱者などに対応する小規模な商業施設やイベントに対応するための駐車場を併せ持つ施設を想定し、中長期的な整備計画を策定し進めていきます。

近年、町外から移住希望者が増え、これに伴って空き家の問い合わせも増加しています。家の貸・売却を希望する空き家の情報を紹介する「空き家バンク」の充実を図るとともに、適正な管理と活用の方針を示す「大江町空き家等対策計画（仮称）」の策定を進めます。

改修した「大江町山里交流館」は、新年度より愛称を「やまさあーべ」として運営が開始します。運営については、七軒地区の有志の方々が組織された「さわらび会」が指定管理者として運営をおこなうこととしており、地域の活性化と雇用拡大が期待されます。また、左沢地区の旧きらやか銀行大江支店跡地の活用については、耐震補強が必要である状況を踏まえた上で、中心市街地の活性化について町民の方々が意見交換をする場を設けるとともに、大学などの連携も図りながら検討を進めていきます。

を

ふるさと納税については、町内の特産品を特典として贈答する取り組みを始めています。4月からはインターネットでの寄付申出も可能となりますが、町の特産品を中心とした特典制度の充実を図るなど、町内への経済波及につながるよう積極的に取り組んでいきます。

駅前公有地の活用については、これまで町民アンケートや「左沢駅前町民検討会議」の検討結果などを参考にしながら、基本的な活用と整備のあり方を

を

定住人口対策として、平成26年度から着手した藤田地区住宅団地は、27年度の早期に造成工事に着手し、秋には全21区画の分譲を開始する予定です。価格は1区画あた

り坪単価で5万円台とし、面積は平均80坪程度の小規模とすることで、若い世代でも買い求めやすい団地にしていきたいです。

を

を

町内にはさまざまな遊休施設があります。旧七軒西小学校を

を

を

を



▲秋完成予定の藤田地区住宅団地のイメージ

2 農業

新規就農者・OSINの会への支援／
町産木材の利用促進／全国山菜サミット

本

町では、農業者の減少と米価下落などを背景に、耕作放棄地の増加に拍車がかかることを懸念しています。これに対し農地中間管理事業の積極的な活用や青年就農給付金を活用した新規就農者・後継者の確保、就農研修生受入協議会「OSINの会」活動への支援を引き続き実施していきます。また、イターン者などの新規就農を支援するため、新規就農者用住宅の建設や生活支援、農機具バンクなど、定住しやすい環境整備も引き続きおこなひ、農業振興と定住促進に取り組んでいきます。

木

材価格の低迷や林業者の高齢化、離村などにより、町内には手入れされない森林が急増しています。このため、林業者の所得向上と関連産業の振興のため、藤田住宅団地分譲を好機ととらえ大江町型住宅の販売活動を粘り強く進めるとともに、町産材の住宅用資材としての利用拡大を図っていきます。さらに、住宅用資材としての天然乾燥材の生



▲新規就農者用住宅

昨

年から準備を進めている全国山菜サミットは、5月24日から25日の日程で開催します。山菜栽培技術の向上や新たな山菜料理、山菜の魅力などについて普及啓発を図り、農林業と商業、観光業などに結びつけ豊富な森林資源による新ビジネス創出と地元産業活性化の推進につなげていきます。

産と貯木、販売を関係者が協力しておこなう仕組みを検討していきます。

3 工商

工業団地の整備／やまがた地鶏の食鳥処理施設／重要文化的景観を活用した観光

国

の「まち・ひと・しごと総合戦略」では、地方への新しい人の流れをつくるため、企業の地方への移転促進を打ち出しています。これを受け、企業を誘致する際の受け皿となる新たな工業団地の整備について具体的な検討をおこなっていきます。

新

たな特産品化を目指し取り組んできた大江町産やまがた地鶏については、27年度は町内で3,000羽の飼育が計画されています。これまでの2か月に1回から、今後は毎月の出荷が可能になると見込まれており、販路拡大のために一層力を入れていく必要があります。より鮮度を保つての提供や「せせり」などの希少部位の提供など、これまで対応できなかった要望を実現させることが、将来に向けた販路拡大の大きな鍵になると考えています。こうした課題を解決する方策として、やまがた地鶏に特化した自前の食鳥処理施設を県の支援を受けて町内に整備します。

観

光における今後の課題は、既存の各種イベントの企画運営だけではなく、新たな魅力あるツアーを創出して誘客を図り、町内経済の活性化に結び付けることです。大江町は、県内で初めて国の重要文化的景観に選定された町です。先人が積み重ねてきた景観など、町独自の特色を活かしながらJR東日本や仙台圏の旅行会社と連携し、「左沢のまち歩き観光」や農業体験などを組み合わせた新たなツアーを提供し、本町ならではの着地型観光を積極的に推進していきます。

◀やまがた地鶏



4 道路水

大江西川線・藤田堂屋敷線の整備工事／
水道設備の改修・自己水源の活用

道 路は、町民の生活や産業の振興、活力ある地域社会などを形成する上で、欠かすことのできない社会資本です。本町を東西に走る主要地方道大江西川線は、貫見から沢口間について事業が開始され、昨年度は、貫見側から2橋の橋梁下部が着工されました。今年も、引き続き上部の工事が予定されています。平成25年3月に設立された「大江・西川両町道路整備促進期成同盟会」を中心に、早期完成に向け国および



▲町道藤田堂屋敷線

県当局に対し更なる要望に努めます。左沢高等学校から小見方面に至る町道藤田堂屋敷線は、まちづくりを進める上で重要な路線と位置付けています。平成27年度は町道西原藤田山線までの第1工区、延長420mについて完成できる予定となっており、町道左沢小見線までの第2工区についても並行して用地買収と物件補償を進めていきます。

豪

雨により大規模な断水が発生した村山広域水道では、今年

度西川浄水場内の沈殿池に「中間取出し装置」を設置し、受水市町間の受水量調整などソフト対策とあわせ、7・18豪雨規模の大雨でも断水を回避できるとしています。本町は、今後村山広域水道からの受水を主体としなければなりません。同時に柳川浄水場への原水貯留池の築造や三合田地区内の配水管増口径工事を実施するなど、切留、柳川地区の自己水源の有効活用を図るとともに、有事の際に相互に融通できるように区域の拡張に取り組んでいきます。

5 福祉子育て

緊急通報体制整備事業／いきいき子育て支援事業
町立保育園の統合／中学生までの医療費無料化

本

町のおよそ3人に1人が高齢者となっており、さらにひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦のみの世帯が増加しています。この状況を踏まえ、ひとり暮らし高齢者の緊急時連絡手段を確保する緊急通報体制の整備や高齢者の雪下ろし支援を継続して実施していきます。

また、高齢者宅の訪問事業とあわせ、地域の方々からご協力をいただきながら見守りをおこなってまいります。

4

月から「子ども・子育て支援新制度」が施行されます。『子どもはまちの宝物』を理念とし、妊娠・出産期からの切れ目のない支援をおこなってまいります。

近年、低年齢からの保育希望が高まっており、民間事業者と連携しながら対応していくほか、これまでの延長保育、一時預かりなどに加え、新たに子育て短期支援事業を実施し、夜間の預かりなど、子育て世代の多様なニーズに添ってまいります。

また、「いきいき子育て支援事業」

の内容を拡充し、3人目以降のお子さんや幼稚園や保育所に入所した場合、保育料が実質無料となるよう、子育て世帯の経済的負担を軽減していきます。

少

子化が進む中、町立保育園については施設の統合は避けられない課題です。この状況を踏まえ、町では町立保育園統合に向けて準備をすすめるとともに、民間立保育園の施設整備を支援していきます。さらに、放課後の児童の生活の場を提供する「放課後児童クラブ」の利用者が増えていることから、新たに本郷東小学校区に施設の整備をすすめていきます。

子

どもを産み育てやすい環境の整備と子どもたちのすこやかな育成を支援するため、山形県医療給付制度の対象とならない小学4年生から中学3年生までの外来にかかる医療費の自己負担分を大江町が助成し、中学3年生までの医療費の無料化を継続していきます。

6 教育振興

中学生海外派遣事業・外国人招致事業／左沢高校への支援／中央公民館の建替え

国 際理解教育の推進としては、引き続き外国語指導助手（ALT）の活動を中心に展開することとし、生きた英語教育・外国文化への理解を深める授業となるよう進めていきます。また、2年目となる中学生海外派遣事業では、自ら進んで異文化と交流、または外国語の学習に取り組み続けていくきっかけとなることを目指し、事前事後研修の充実に努めます。さらに、広く本町の子どもたちに異文化理解の機会を設けるため、外国人招致事業を実施します。

左 沢高等学校は、県立高校再編はもとより、町のにぎわい、若者のボランティア力、公共交通機関の活用など、町の活性化にとってなくてはならない学校であります。これまで3町による「左沢高等学校を支援する会」で支援をおこなってききましたが、地元である大江町独自の支援として、JR左沢線で通学する生徒に対する支援をおこない、生徒数確

保の支援と合わせJR左沢線利用促進にも取り組んでいきます。

中 央公民館は、生涯学習の拠点施設として、また図書館機能をあわせ持つ施設として、今年から2か年度での完成を目指します。それに伴い今年度、生涯学習の場は地区公民館が中心になりますが、各教室の内容を充実させ、引き続き生涯を通じた学習意欲の向上を支援していきます。

保の支援と合わせJR左沢線利用促進にも取り組んでいきます。



▲外国人招致事業・グローバルアフタースクール

7 危機管理

防災行政無線／自主防災組織の育成、消防団の装備の充実／LED防犯灯の整備

2 年連続で豪雨による災害が発生しました。幸い人的被害は無かったものの、町民生活に大きな支障をきたした経験は、あらためて災害の恐ろしさを再認識させられました。本町においても、危機管理体制の強化が改めて重要であるとの認識から、引き続き防災・減災対策を推進していきます。また、災害が発生した際、全町民に正確な情報を迅速に伝達する防災行政無線の早期完成に向け実施設計をおこないます。

無かつたものの、町民生活に大きな支障をきたした経験は、あらためて災害の恐ろしさを再認識させられました。本町においても、危機管理体制の強化が改めて重要であるとの認識から、引き続き防災・減災対策を推進していきます。また、災害が発生した際、全町民に正確な情報を迅速に伝達する防災行政無線の早期完成に向け実施設計をおこないます。

防 災・減災の要となる自主防災組織は、安全安心な町づくりを進める上で特に重要な存在です。地域における自主防災組織の育成と活動を支援するとともに、「自らの身は自分で守る」という防災意識の醸成を促すための啓発に努めていきます。また、地域の安全安心のための活動をしている消防団についても、若い世代が入団しやすい環境を整えていくほか、災害現場での団員の

安全を確保するための装備の充実を図ります。

安全を確保するための装備の充実を図ります。

交 通安全および防犯対策については、これまで以上に関係団体と連携協力しながら活動を展開してきます。中でも、地域で維持管理する約1,000基の防犯灯については、環境に配慮した省エネタイプのLED防犯灯に更新するための支援を昨年に引き続きおこない、今年度で町内全ての防犯灯をLED防犯灯に更新していきます。

交通安全および防犯対策については、これまで以上に関係団体と連携協力しながら活動を展開してきます。中でも、地域で維持管理する約1,000基の防犯灯については、環境に配慮した省エネタイプのLED防犯灯に更新するための支援を昨年に引き続きおこない、今年度で町内全ての防犯灯をLED防犯灯に更新していきます。

▲消防団による土砂清掃（昨年7月9日に発生した豪雨災害時）



平成27年度
一般会計当初予算

53億3,100万円

子育て・教育立町を目指したまちづくり

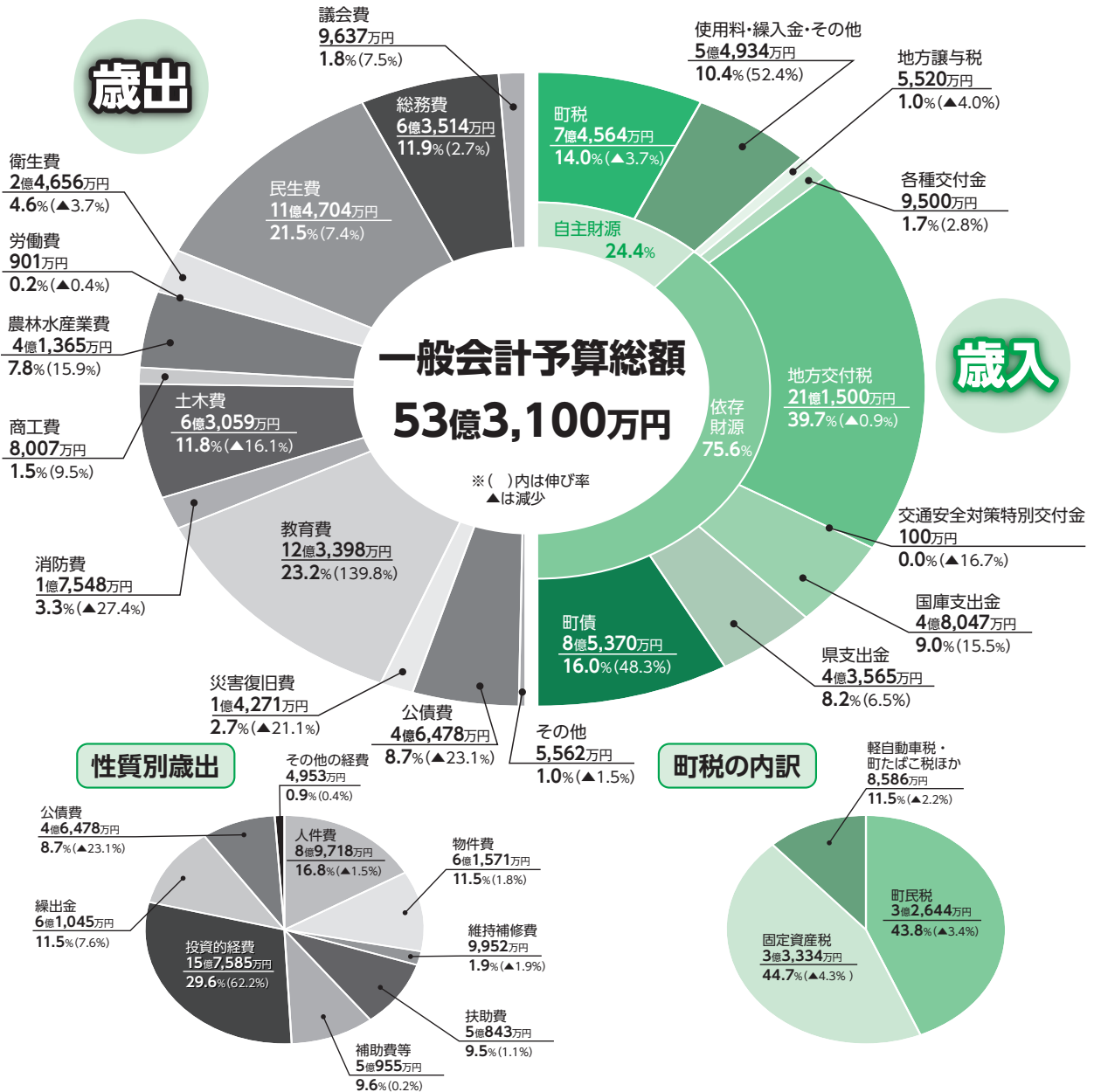
平成27年度当初予算が、3月の町議会定例会で可決されました。

一般会計の総額は53億3,100万円で、前年度当初予算額と比較すると10.6%の増となりました。

歳出面での特徴は、中央公民館改築事業や食鳥処理施設整備事業、町立小学校にエアコン等を設置する学校施設整備事業などの投資的経費が大幅に増加。社会保障関係経費の伸びにより扶助費も増加しています。一方、公債費については町債に係る元利償還金の償還終了等により大幅な減少となっています。

歳入面では、投資的経費に係る国庫支出金や県支出金の増加とともに、中央公民館改築事業への基金充当を見込んだため、繰入金が大幅に増加しています。

特別会計を含む各会計の予算概要をグラフと表で紹介します。(予算は千円単位ですが、グラフ表示上は四捨五入により万円単位としています)



◆今年度の主な事業

事業名	事業概要	予算額	事業名	事業概要	予算額
地域おこし協力隊活動事業	地域活性化のための地域おこし協力隊活動費	1,137万円	食鳥処理施設整備事業	やまがた地鶏を捌くための施設整備	3,318万円
集落活性化支援交付金事業	各集落への活動交付金	600万円	農村地域防災減災事業	県営事業による農業用基幹水路・ため池の改修	773万円
景観形成事業	生垣、屋根など優良景観形成に対する補助	428万円	商売繁盛創出支援事業	新事業への取組に対する補助	350万円
ふるさとまちづくり寄附促進事業	ふるさと納税の啓発・促進経費	323万円	道路新設改良事業	町道藤田堂屋敷線道路改良ほか	1億4,303万円
山里交流館施設管理運営事業	自然体験型宿泊施設の管理運営	507万円	住宅建築奨励事業	住宅建築・増改築に対する補助	500万円
地域密着型施設整備事業費補助	認知症高齢者グループホーム整備補助	1,500万円	災害対策事業	防災行政無線の実施設業務、災害備蓄品整備など	1,515万円
子育て支援医療費	中学3年生までの医療費を無料化	2,924万円	教育活動推進事業	中学生海外派遣事業、左沢高等学校支援事業など	3,249万円
子育て支援事業	すくすく出生祝金、子育て短期支援事業費など	126万円	中央公民館改築事業	新たな中央公民館の改築工事	6億2,860万円
保育所整備事業	民間立保育園の改修事業補助	3,360万円	文化的景観保護推進事業	重要文化的景観修繕工事、整備計画策定など	724万円
さわやか健康づくり推進事業	40歳以上の町民を対象に温泉施設の利用補助	759万円	生涯スポーツ振興事業	総合型スポーツクラブ運営補助など	326万円
合併処理浄化槽設置補助事業	合併処理浄化槽設置に対する補助	2,123万円	防犯対策事業	防犯灯LED化推進事業補助	1,265万円
新規就農者用住宅建設事業	大江町型住宅による新規就農者用住宅建設	2,373万円	土木施設災害復旧事業	町道柳川徳沢線災害復旧工事など	1億3,910万円

◆特別会計・事業会計

	歳入		歳出			歳入		歳出		
国民健康保険	国民健康保険税	1億6,400万円	保険給付費	5億8,034万円	簡易水道事業	国庫支出金	2,392万円	施設費	9,282万円	
	国県支出金	2億2,387万円	後期高齢者支援金等	1億879万円		町債	5,540万円	公債費	215万円	
	療養給付費等交付金	9,205万円	介護納付金	4,895万円		その他	1,608万円	その他	43万円	
	前期高齢者交付金	1億7,201万円	共同事業拠出金	2億727万円		合計	9,540万円	合計	9,540万円	
	共同事業交付金	1億9,820万円	保健事業費	1,241万円		公共下水道事業	分担金・負担金	396万円	施設費	5,063万円
	その他	1億6,447万円	その他	5,684万円			使用料・手数料	5,130万円	下水道建設費	8,688万円
	合計	10億1,460万円	合計	10億1,460万円			国庫支出金	3,500万円	公債費	1億6,362万円
後期高齢者医療	保険料	6,024万円	広域連合納付金	9,349万円	繰入金		1億6,684万円	総務費	337万円	
	繰入金	3,433万円	総務費	109万円	その他	4,750万円	予備費	10万円		
	その他	63万円	諸支出金・予備費	62万円	合計	3億460万円	合計	3億460万円		
	合計	9,520万円	合計	9,520万円	農業集落排水事業	使用料・手数料	600万円	施設費	1,485万円	
介護保険	保険料	2億693万円	保険給付費	10億4,455万円		繰入金	3,699万円	公債費	2,122万円	
	国県支出金	4億3,844万円	地域支援事業費	2,950万円		その他	1万円	その他	693万円	
	支払基金交付金	2億9,366万円	総務費	3,950万円		合計	4,300万円	合計	4,300万円	
	繰入金	1億7,078万円	その他	55万円	水道事業	営業収益	2億2,883万円	営業費用	2億4,532万円	
その他	429万円	合計	11億1,410万円	営業外収益		3,387万円	その他	1,738万円		
合計	11億1,410万円	合計	11億1,410万円	合計		2億6,270万円	合計	2億6,270万円		
宅地造成事業	分担金・負担金	6,584万円	宅地造成費	1億5,755万円		企業債	8,900万円	建設改良費	1億3,286万円	
	財産収入	3,121万円	基金積立金・予備費	5万円		国庫支出金	1,600万円	企業債償還金	3,164万円	
	繰入金・その他	6,055万円	合計	1億5,760万円	負担金	100万円	その他資本的支出・予備費	256万円		
	合計	1億5,760万円	合計	1億5,760万円	合計	1億600万円	合計	1億6,706万円		

平成26年度やる気→元気活動支援事業の状況

平成26年度に実施している「やる気→元気活動支援事業」の取り組み状況を報告します。

この事業は、地域文化の振興や少子高齢化の改善などを目的に、住民自らおこなう公益的な活動や新たな団体の育成を支援するものです。

事業に認定されると、最初の年はスタート支援として30万円を上限とする額、2年目以降はステップアップ支援として100万円を上限とする額が交付されます。平成26年はスタート支援として1団体、ステップアップ支援として7団体が認定されました。

団体名	事業名	補助額(千円)
第8区	左沢駅前祭&行燈通りプロジェクト	1,000
山業ビジネス &プロジェクト	木の街おおえプロジェクト	300
おおえ昔語りの会	山形の宝 (これが大江の語り部だ) 事業	423
第4区自主防災会	災害時に備えた 資材などの備蓄事業	297
歌と弦の会	津軽三味線佐藤通弘と清野明子と 大江町民謡連合会コンサート	549
CBJ事務局	CBJAM 2014	701
さがえ西村山農協 青年部大江支部	大江町農協青年部 婚活プロジェクト	403
楢山田植踊保存会	田植踊りの伝承 ・後継者育成事業	269
合 計		3,942



◀木の街おおえプロジェクト



◀左沢駅前祭&行燈通りプロジェクト



◀災害時に備えた資材などの備蓄事業



◀津軽三味線佐藤通弘と清野明子と大江町民謡連合会コンサート



◀田植踊りの伝承・後継者育成事業



◀CBJAM 2014



①

3/8・14 4月のオープンに向け プレイベントを開催

4月29日のグランドオープンに向け、大江町山里交流館「やまさあーべ」（旧七軒西小学校）を管理運営するさわらび会が、施設のお披露目を開催しました。

3月8日のお披露目会には、地元七軒地区の住民を中心に約50名が参加しました。さわらび会事務局の佐々木隆馬さんの案内で、各部屋の説明やこれからの活動内容が説明されるとともに、祝いの餅つきがおこなわれました。

また、3月14日には沢口区若者会主催の薪作りイベントがおこなわれ、黒森地区の森を舞台に間伐や枝打ちなどの他、昔ながらのソリを使用しての集材作業、オノ・薪割機を使った薪割などを体験しました。

- ①お披露目会の様子
- ②黒森でおこなわれた間伐
- ③間伐材を利用したの薪割体験



②



③



2/22 軽快なダンスパフォーマンスを披露

大江スポーツクラブO-STEPのキッズダンス教室に通う子どもたちで結成する、ダンスグループ「SMIZÉ」の発表会が2月22日におこなわれました。

発表されたダンスは、「victory」や「イノチノリズム」など人気アーティストの曲で、振付は指導者の渡辺敦子先生が考案しました。ダンスは1曲あたり5分から10分と本格的な内容でしたが、出演した子どもたちは、息の合った軽快なダンスを披露し、会場を訪れた保護者のみなさんを驚かせていました。



2/22 白銀のカメに春を呼ぼう

小学生と東北芸術工科大学の学生たちが、共同で作品を制作する「おおえ familywa」を2月22日、大江町山里交流館で開催しました。

今回の作品は、画用紙と段ボールでできた真っ白なカメ（カメ山）をキャンバス代わりに、子どもたちと学生がアイディアを出しあい春らしいデザインにするというものです。

子どもたちは、色紙や新聞紙、粘土で作った花や虫で装飾したり、筆の代りに手のひらや指先を使って絵具を塗ったりして、白銀の雪山をイメージしたカメを春山に模様替えしました。



3/27~29 舟運時代の雛、華やかに

最上川舟運によりもたらされた時代雛を見ることができる、大江のひなまつりが3月27日～3月29日、町内各展示会場でおこなわれました。

会場となった金子仙之助家、清野太家、岡田文治家、歴史民俗資料館では、江戸時代中期の享保雛や後期の古今雛などの貴重な雛人形を見ることができたほか、お休み処「錦庵」では無料で甘酒などの振る舞いがおこなわれました。

清野家では、昔大切なお客様のみを泊めたとされる蔵座敷に、古今雛や御殿雛、竹田人形が展示され、訪れた方は「雛人形も会場も格式高くてすばらしいです。これからも大切にしてほしいですね」と話していました。

また、3月22日には音の文化祭ひなまつりコンサートが開催され、9団体が出演しました。大江町正調最上川舟唄保存会は「うれしいひなまつり」を尺八のアンサンブルで演奏し、観客は独特な音色と愛らしい曲調のコラボレーションに聞き入っていました。



▲清野家
◀岡田家
▼大江町正調最上川舟唄保存会による尺八のアンサンブル



3/16 3年間の思い出を胸に新たな旅立ち

3月16日、大江中学校で卒業式がおこなわれました。式では、渡辺信校長が卒業生一人一人に卒業証書を授与し「校歌にあるように、皆さんには、ふるさとの山河を愛し、新しい世紀をめざし、自分の可能性に挑戦して行ってほしい」と式辞を述べました。

また、別れの言葉では、卒業生代表の海野一真さんが「これから先、どんな困難が待ち受けようとも、この3年間の思い出を胸に乗り越えていきたい」と卒業の喜びと、あらたな旅立ちについて決意を表明しました。



3/9 地元の昔話を情感たっぷりに

地元で伝わる昔話を情感たっぷりに語る、おおえとんと昔のつどいが3月9日、ふれあい会館で開催されました。

3回目の開催となった当日は、お札を駆使して山姥から逃げる「三枚のお札」や将棋好きの3人が極楽浄土でも将棋を指そうと奮闘する「三人の仲間」など4つの昔話が披露されました。特に民話寸劇「左兵と酒樽」では、米沢藩にお酒を持ちこみ一儲けするため、ユニークな策で番所を通ろうとする左兵を昔語りの会がゆかいに演じ、観客からは大きな笑い声があがっていました。

お知らせ

Information

春季火災予防運動のお知らせ

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の普及を図るため、県下一斉に実施されます。

◆期間／4月9日(木)～22日(水)

◆統一標語／

『もういいかい』

火を消すまでは まあ、だよ』

※4月16日(木)～22日(水)まで、7時～20時に防火サイレンを吹鳴します。

※お問い合わせは、消防署大江分署 ☎(62)3120、または総務課危機管理係(役場2階) ☎(62)2187まで

大江町消防団春季消防演習

◆日時／4月26日(日) 13時～

◆場所／左沢小学校グラウンドおよび左沢内町・横町通り

◆内容／消防操法、一斉放水、分列行進など

※当日は、左沢地区の交通規制があります。ご協力をお願いします。

※お問い合わせは、消防署大江分署 ☎(62)2139まで

☎(62)3120、または総務課危機管理係(役場2階) ☎(62)2187まで

大江町雇用促進助成金のご案内

町では、雇用の確保と産業の振興を目的に、新たに従業員を正規雇用した町内の事業主に助成金を交付します。また、雇用する従業員が新規学卒者である場合は、従業員本人にも助成金を交付します。

◆助成対象者／

・事業所助成金：町内に住所を有する者を正規の従業員として雇用した事業所に対して助成金を交付。当該事業所に非正規で雇用していた従業員を正規雇用した場合も対象

・新規学卒者助成金：町内に住所を有する新規学卒者が、事業所に正規の従業員として就職した場合、新規学卒者本人に対して助成金を交付

◆助成金額／1人あたり10万円

◆交付要件／平成25年4月1日～平成28年3月31日の間に雇用を開始し、6ヶ月以上雇用・就労した場合。

※いずれの助成金も雇用・就労開始から6ヶ月経過後に申請書類を提出
※お申し込み・お問い合わせは、政策推進課起業推進係(役場2階)

☎(62)2139まで

認知症カフェ「あじさいカフェ」の開催

認知症の方、家族の方が抱えるさまざまな悩みを、くつろいだ雰囲気の中でお話しただけの場の提供を目指しています。どなたでも参加できますので、ぜひお越し下さい。

◆日時／4月19日(日) 14時～16時

◆会場／グループホームあじさい

◆内容／認知症の相談など

※お問い合わせは、グループホームあじさい ☎(83)4177まで

オーステップ 新年度会員募集

健康やかな体と心をつくるためには運動・スポーツが欠かせません。O-STEPでは、通年教室を7教室、季節教室(5～10月)を4教室開催しています。O-STEPで仲間の皆さんと一緒に体を動かし、元気な毎日をおくりましょう。

今年度からヨガ教室(昼間)とピラティス&ヨガ教室(夜間)は、テラスメ柏陵を会場に開催します。汗をかいた後は温泉でゆったりリラクゼーションができます。初心者の方も大歓迎です。入会をお待ちしております。4月中は、より多くの方に

新採職員を紹介します

嶋之木卓哉(13区) 総務課



開拓精神を燃やしつつ、仕事に従事していきたいと思っております。

荒川 貴成(藤田) 税務町民課



豊かで明るい町になるよう、全力で仕事に取り組みます。

長い間 お疲れ様でした

○松田 健一(議会議事事務局)
○佐竹 恵子(教育委員会)

※3月31日付で退職された方々です。



**第43回家畜人工授精優良技術発表全国大会
事例を発表 黒川千春さん (諏訪原)**

家畜人工授精師の黒川千春さん(諏訪原)が、家畜人工授精優良技術発表全国大会にて、新たな人工授精技術の事例を発表し表彰を受けました。

黒川さんが発表した技術は、これまで難しかった受精卵の加工の簡略化と高い受胎率の両立を実現しています。受賞を受け、黒川さんは「今年はこの技術を使って、受胎率の全国ランキングへのランクインを目指したい」と今後の抱負を語ってくれました。

**国勢調査
2015**

今年、平成27年10月1日を基準日に国勢調査が実施されます。国勢調査によって明らかになる人口は「法定人口」とよばれ、衆議院小選挙区の策定や地方交付税の算定基準などさまざまな法令上の人口に利用される他、企業や各種団体、大学や研究機関など、民間分野の経営や研究にも広く活用されています。

【調査の概要】

- ◆期日/10月1日
- ◆対象/10月1日現在、国内にふだん住んでいるすべての人(外国を含む) および世帯
- ◆調査事項/世帯員について「男女の別」「出生の年月」「配偶の関係」など13項目、世帯について「世帯員数」など4項目
- ◆結果の公表/人口速報が平成28年2月に、年齢別人口など詳細は10月末までに公表

ご入会いただけるよう、どなたでも各教室を自由かつ無料で体験できます。気軽にお越しください。
※参加する場合は、事前に左記事務局までご連絡ください
※お問い合わせは、体育センター内、大江スポーツクラブO-I-STEP事務局 ☎(62)3663まで

河北病院の新しい急患室がオープンしました

救急患者の受入は、全て病院建物東側の新急患室にておこないます。また防犯上の理由から、面会終了時刻の夜8時から朝7時まで、建物北側の入院入口は施錠させていただきます。救急の場合は、新急患室受付にお回りください。

※お問い合わせは、県立河北病院 ☎(73)3131まで

自衛官候補生募集のお知らせ

- 【一般幹部候補生】
- ◆募集資格/20歳以上26歳未満
- ◆受付締切/5月1日(金)
- ◆試験/5月16日(土)
- ※お問い合わせは、自衛隊山形募集案内所 ☎023-632-8976まで



今 年4月から新たに広報の担当となりました伊藤と申します。一眼レフカメラはこれまでほとんど触ったこともなく、まさに「ゼロ」からのスタート。これから長い道のりになると思いますが、この町の「生きていく姿」を発信していく、そんな広報誌を作ることを目指して頑張っていきます。よろしくお願いたします。(伊藤智治)

このたびは人事異動により広報担当を退くことになりました。「町の動きをより詳しく、分かりやすく」を目標に取り組んだ、あつという間の3年間でした。いつも取材に出かける前は不安でいっぱいでしたが、いざ現場に行くといつも新たな発見、出会いがありました。大きな一眼レフカメラでおっかなびっくり写真を撮っている私を「カメラマン」と呼んでくれる子どもたちもいて、そのたびに元気づけられました。取材・編集に協力いただいた全ての皆さんに感謝申し上げます。この3年間、広報係を通して私自身とても成長することができました。「仕事は常に自身に厳しく真剣に」次の職場でも広報係で経験したこの気持ちを忘れず、職員としての仕事をまい進することを誓い、ここで筆を置きたいと思っております。(山家雄志)

手作りおひな様作品展



リレー随想／ 《第94回》

便利と快適の違い

大江町に来てから3年が経った。先日、地域おこし協力隊の活動報告会を終えたが、自分の口から出る言葉に少し驚きながら発表をしていた。思考は時として感情についていけない時がある。思い起こせば、大江町で初の地域おこし協力隊として活動を始めてからは振り返る余裕が無かった。緑のふるさと協力隊を終わっても地域おこし協力隊として任期を延長した動機が「1年では答えが出せなかった」からで、武器とする

スキルも持っていないなかったし戦略も無かった。全てが探りながらの活動で、関わる人々の大きな懐の中で私は生かされていた。言葉にできずとも町の人々の顔が浮かび、目頭と胸が熱くなる感覚をおぼえた。

なぜ、故郷の横浜を離れて地方、それも大江町の柳川という不便な山奥に住むのか不思議がられることが多いのだが、自分はそこまで他人と感覚がずれているのだろうか。快適な場所とは、便利と違って自分の居場所がたくさんあることだと私は思う。私のように協力隊を志望する若者は都会に負けて逃げて来たのだろうか。だとすれば、私は今ここに居ないと思う。便利さと楽さを求めた先に私の中での本当の豊かさは無いから、ここに住み続けることを選んだのである。

「向こう三軒両隣」というが、都会では挨拶ですら不審な目で見られることがある。私も横浜市内で2度の引っ越しをした後にはもう、お隣さんの顔も名前も分からなくなっていた。もちろん、都会のコミュニティは消滅していない。「地縁」のくくりが弱まっているだけだ。しかし実際、生きていく上でよおぐおぼえっ人が「そばにいる」ことは大切なことではないのだろうか。

人間同士だからすべて円満とはいかないが、衝突があったとしても知人以上の関係があるならやり直せると私は思う。気が合わない人とは距離をとるほかに、互いが気持ちを勉強しあうという手段がある。そうでなければ、人間は孤独で助け合ったりできない。

今、振り返るとヨソ者の私にも町内のさまざまな場所によおぐおぼえった人ができた。笑顔でいられ、心地よく過ごせる居場所が増えた。そうした居場所づくりは地域おこしに欠かせないと感じている。車社会の中で、人が車を降りてまどろんだり、何かに夢中になって過ごせる場所が一層必要になってきているのではないだろうか。

便利さという言葉に踊らされてわれわれが何を失ったのか、時代を戻せという意見に無理があるのは承知だが、省みて次の時代を模索しなくてはならないのではと感じる。豊かな自然、町の歴史、そういったものを大切にして町が自らを深めていくこと、その先に次世代につながるのもっと魅力的な大江町があると私は信じている。一町民として自分のできることを模索しながら、今後住み続けていきたい。

(柳川平 石坂康平)

人口と世帯(前月比)

町の人口 8,833人(-6)
男 4,358人(+2)
女 4,475人(-8)
世帯数 2,944戸(+5)

平成27年4月1日現在

戸籍の まど

2月21日～3月20日受付分

ご冥福を祈ります

9区 安彦ミヨ子 (83)
1区 金山 咲子 (70)
市の沢 清野 正男 (68)
9区 吉田 よね (97)
藤田 勇崎 貞子 (79)
7区 山家 うら (97)
9区 菊地ハナエ (91)
木の沢 丸山みゑ子 (81)
9区 嶋之木もと子 (82)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
みなみ	鈴木 望 ^{おみ} 央	女	孝拓・友香
みなみ	長岡 玲 ^{れな} 那	女	弘樹・千秋
4区	鴨田 ^{みつき} 光咲樹	男	直樹・真緒

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(寒河江市)	鈴木 淳
(下北山)	安孫子 絵美
(貫見)	鹿股 桂一
(寒河江市)	柳澤 明子
(橋上)	柏倉 元気
(岩手県)	高林 美野



※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。